

令和6年11月29日

No. 9



発行責任者

校長 有崎 美紀

自ら伸びる



府中央小学校ホームページ <http://chuosho.fuchu-town.ed.jp>

学校の外でも育てられる子供たち

ある日の放課後、地域にお住まいの女性の方から、学校に1本の電話がありました。

午後3時半ごろ、その女性が自転車に乗ってスパークの交差点近くの歩道を通っていた時、前から低学年くらいの男の子4人が、こちらに向かって歩いてきたそうです。その男の子たちは、プラスチックのバットを持って、中央小のグラウンドに遊びに行く途中だったようです。女性は、歩行者優先のため男の子たちに道を譲ろうとしたところ、男の子たちの方が「どうぞ、どうぞ。」と女性に道を譲ろうとしてくれたとのこと。女性が「先に通っていいよ。」と声をかけると、男の子たちは、すみやかに通り、そのあと、「道を譲ってくれてありがとうございます！」と丁寧に挨拶をしてくれたそうです。

女性は、よほど嬉しかったのでしょう。このあと、学校に電話をくださり、「とても心が育っていると感じて、温かい気持ちになりました。」と伝えてくださいました。

このお話を聞いて、この学校の子供たちは、美しい心を自ら育てているなど嬉しく思いました。世間では、学校が苦情受付のようにになっている旨の話を知ることがありますが、本校の場合は、先生方の取組の姿勢や思いが伝わるのか、支援的な嬉しい声を聞かせてもらう機会が増えています。本校の教育は、学校内外のそれぞれの人たちの心配りで成り立っていることをあらためて認識しました。

子供の「よい芽」を大切に育てていく土壌づくりには、「鋭敏な感性」と、子供に返す「評言」が大切。地域の方も一緒に子供を育ててくださっていることに感謝です。

「学校へ行こう」週間

広島県では、開かれた学校づくりを推進する取組として“学校へ行こう”週間を「ひろしま教育ウィーク(11月1日～7日)」で実施しています。本校では、保護者参観・地域参観や科学研究入賞作品の展示や学校運営協議会を実施し、自ら伸びる子供達の様子や学校の取組を公開したり、子供達の教育について一緒に考えていただく会を開催したりしました。

自由参観日

11月5日から7日の3日間は自由参観を行いました。今回の授業参観は保護者の皆様だけでなく地域の方にもお越しいただきました。2校時から4校時までの自由参観でしたので、休憩時間の様子も参観していただけたのではないのでしょうか。子供達は、保護者や地域の皆様に参観していただき、とても張り切って学習に取り組んでいました。



学習発表会 ～伝えよう！『生きた言葉で』～

今年は平日開催で雨の中でしたが、たくさんの保護者・地域の皆様に子供達の発表を観ていただき、ありがとうございました。それぞれの学年が、練習の成果をしっかりと出しきり、達成感がいっぱいでした。

1年生 「ためきの糸車」



キーカラカラ♪
キークルクル♪

3年生 「モチモチの木」



人間、優しささえあれば、やらかなきゃなんねえことは、きつとやるもんだ。

災害が起きた時、自分たちにできることは…。

5年生 「防災 ー共に生きるー」



にこにこ学級 「元気いっぱい！27ひきのねこ」



皆の力を合わせれば、でっかいことができる！！

動物園の獣医の仕事は動物たちが元気に暮らせるよう助けること。

2年生 「はちの子どうぶつ園のじゅうい～じゅういの日～」



6年生 「平和 ー未来に向かってー」



自分の思いを自分の言葉
生きた言葉で語る！

未来に向かって歩む私たちが
できることは…。

4年生 「わくわく はなしあいま show」



【児童代表 終わりの言葉】

6年 代表児童

今日はお忙しい中、学習発表会をご参観くださりありがとうございました。今年度の学習発表会のテーマは「伝えよう！『生きた言葉で』」でした。それぞれの学年が今まで学んできたことを生かし、発表しましたがいかがでしたか。

僕は、それぞれの学年の発表にこめられた思いや、これまで学んできたことを自分たちの言葉で堂々と発表する姿にとっても感動しました。

私たち六年生は平和について学んできました。平和について学習する前は、自分たちの手で平和を創ることは難しいことだと思っていましたが、平和について学んでいくにつれて、身近な人を大切にすることや平和を発信することが、自分たちの手の届く範囲で創ることができる平和だということに気が付きました。何のために自分たちが平和を学んだのか、何のために自分たちが平和を伝えるのかを問い直すことができました。

今回の学習発表会で学んだことをこれからの学校生活に生かし、府中中央小学校のリーダーとしてより良い学校を創っていきます。そして、私たち六年生は残り半年で卒業です。卒業まで自分たちにできることは何か考え、残りの小学校生活をおくっていきます。また、中学生になっても仲間と積み上げてきた学びを生かし、中学校でも山場を乗り越えていきます。

第2回学校運営協議会

11月6日(水)に、今年度2回目の学校運営協議会を開催しました。保護者や地域の方で構成された委員さんと教職員で、授業参観の後、学校自己評価(中間報告)をもとに本校の教育活動について熟議をしたり、児童の様子について情報共有をしたりしました。今回いただいたご意見を反映し、今後の本校の教育活動がよりよいものとなるよう問い直していきたいと思えます。

【ご感想・ご意見】(一部紹介)

- ・1年生がタブレットを使って漢字を書いていた、4年生が理科の自由進度学習で楽しく学習したりしていた。1年生の漢字ビンゴは、ICTに馴染む仕掛けになっていた。
- ・自分が子供の頃は、地域が育ててくれたし、自分が住んでいる地域が全てで情報も少なかった。現在は、情報も多いし、周りから自分がどう見られているかを気にする。子供のために何かをしてあげたいけど、何をしたいのか分からないという保護者が多い。保護者は学校や先生を知ろうとする、歩み寄ろうとする努力が必要である。共感を求めることが大切。
- ・土壌を耕すことが大事。「いつでもどうぞ。」と学校と保護者がなんでも話することができる関係ができると良い。
- ・保護者の学習機会をもち、もっと広げていく必要がある。地域の人と繋がるメリット、中央小と関わって良かった、地域の皆にとって中央小があって良かったと思えるようにしたい。中央小校区の文化は「創る」こと。

はちの子長縄交流会

11月18日(月)に、長縄交流会を行いました。学級や縦割り班ごとに、3分間で8の字跳びが何回続くかを数えます。練習を重ねるごとに、アドバイスをし合う姿が見られるようになり、縄を回す人と跳ぶ人のタイミングも合い、100回以上続いた学級や班がたくさんありました。はちの子の団結力を感じた交流会でした。



安芸郡小学校陸上記録会に出場しました

11月24日(日)、ミットヨスポーツパーク郷原(呉市総合スポーツセンター)陸上競技場において、第40回安芸郡小学校陸上記録会が開催され、本校からは5・6年生の児童10名が参加しました。

陸上記録会に向けて、児童は府中緑ヶ丘中学校陸上部の岩崎コーチにご指導いただきながら、陸上部の中学生と一緒に練習をしました。それぞれが自分の目標とする記録を更新するために懸命に練習を重ね、記録会当日はベストを尽くすことができました。

【結果】

個人情報のため掲載しません。



個人情報のため掲載しません。



「じまんの俳句」第5回目の代表作品

今回は自由投句の2回目でした。俳句作りに挑戦してくれたのは前回は大きく上回る804人、集まった俳句は3789句でした。今回の自由投句では、1年生がたくさん投句してくれました。自分の生活を見つめ、経験したことや感動したことの中から俳句をつくりだそうとしている児童が増えてきました。

スタジアム いつかはぼくが ここに立つ

一年 児童

エディオンの新しいスタジアムの見学に行った時、感動すると共に将来は選手になって、ここでプレイするんだという気持ちがいっぱい。絶対このピッチに立って活躍する選手になってやるぞという強い意志がこの俳句から伝わってきます。

シマウマは ぼくのふくに にているよ

二年 児童

二年生は、先日社会見学で動物園に行った時、動物についての俳句をたくさん作りました。おそらくその日、作者の〇〇君は、シマウマと同じ縞々模様の服を着ていたのではないのでしょうか。シマウマの模様と自分の服が似ているという「もの見方」がとてもユニークで、子どもらしく素直でかわいい俳句です。

とうちゃんの スイートポテト ぜっぴんです

三年 児童

この俳句の魅力は、なんといっても始めの「とうちゃん」です。ふだん〇〇さんは、お父さんのことを「父ちゃん」と呼んでいるのかな。誰にも負けないとてもおいしいスイートポテトを作る父ちゃんのことを誇らしげに思っている〇〇さんの愛情あふれる作品となりました。

夏のかばん 海のおいが まだするよ

四年 児童

季節は秋になってしまったけど、夏に使っていたかばんからは、まだ海の香りがしてきて、夏の楽しかった思い出が昨日のことのように蘇ってくるそんな素敵な表現の俳句です。「楽しかった」とか「忘れられない」という言葉を使わなくても、〇〇さんにとって夏のしかも海で楽しいことがあったのだろうということがわかります。すてきな表現の俳句です。

カッターで 「せーの」でこぎだす はちの子団

五年 児童

五年生は、江田島での野活について詠んだ作品が多く集まりました。それらを読んでみると、特にカッター訓練が厳しくて大変だったのだろうなど、ひしひしと伝わってきます。全員が気持ちを一つにして、「せーの」というかけ声とともにオールをこがないと船は動きません。また「せーの」でこぎ出すのは舟だけでなく、団結力を高めて明るい未来へとこぎだすはちの子団を象徴しているようです。成長したであろう五年生の姿がよく表れています。

冷風が ほっぺにささる 「もう秋か」

六年 児童

ひんやりとした風、あるいは空気がほっぺにささるといふ表現が光る作品ですね。冷たい空気がほっぺにささった瞬間、秋の訪れを感じ取った〇〇さんが「もう秋か」とつぶやく様子が目に浮かびます。秋を感じる瞬間は、人それぞれ違います。みなさんは、どんな時また何を見て秋だなあと感じますか。

石川県能登地震支援活動

地震と豪雨による被災を受けた能登地方について、自分事として考え、応援する気持ちを高めるために、府中町内の小・中学校児童会・生徒会執行部が中心となり、土嚢袋にメッセージやイラストをかいて送ることになりました。土嚢袋とマジックを中央小 PTA より寄付していただきました。子供たちは、それぞれの学級で「1 日も早い復興を願っています」「頑張ってください」等、被災者の元気が出るように願いを込めてかいていました。



☆☆☆おめでとうございます☆☆☆

☆第26回筆の里ありがとうのちょっと大きな絵てがみ大賞

佳作
奨励賞

個人情報のため掲載しません。

☆第47回府中町消防写生大会

町長賞
教育長賞
消防長賞
イオンモール賞
消防署長賞
消防団長賞

個人情報のため掲載しません。



☆ひろしま給食推進プロジェクト「ひろしま給食」100万食メニュー

県民投票で、個人情報のため掲載しません。「♡広レモ菜 Miso Soup♡」が選ばれました。応募総数 955 点の中から 5 点選出されたうちの 1 点です。広島特産のレモンを味噌汁に入れる発想が面白く、レモン風味がきいた爽やかで美味しい味噌汁です。今後、給食のメニューで出される予定です。



☆令和6年度いじめ防止のための標語」作品コンクール

児童生徒学校賞
府中町いじめ防止対策推進賞

個人情報のため掲載しません。

☆令和6年度「府中町ポップコンテスト」

教育長賞
府中町立図書館長賞
本好き愛が伝わる賞
学校司書賞
つばき賞
(表現力豊かで賞)

個人情報のため掲載しません。

